

—日本工業大学—

教職課程に関する情報の公表（2024年度版）

1 教員養成の目標

日本工業大学は、「建学の精神」「日本工業大学の理念」「日本工業大学の教育目標」「実工学の学び」を掲げ実践力のある人材養成に努めています。教員養成においても、これら理念・目標に基づき、高い専門力と豊かな人間力を兼ね備えた、実践的な教員力をもつチーム学校を率いる教員を育成します。

（１）養成する教員像

「確かな専門力と豊かな人間性をもち、教育をとおして社会の発展に貢献し続ける実践的技術創造教員（人材）」

（２）建学の精神・理念

実工学の理念にもとづく工学教育と先進的研究により、新たな価値創造と科学技術の発展に寄与する。

※ 実工学の理念

「工学における実学を重んじ、具象を離れることなく、抽象を怠ることなく、単に机上にとどまることなく、真に有用な教育研究を推進し社会に貢献する」

（３）理念に基づく教育目的

実体験的学習と、これを裏付ける理論習得を反復することにより、工学を融合的に学び、社会において応用・実践することのできる専門力を身につける。

特色ある教育プログラム、課題に取り組む学び、社会との交流・連携を通じ、人々の幸福のために自ら考え行動することのできる人間力を身につける。

（４）実工学の学び

- ① 現実社会に役に立つことを目標に学ぶ工学
- ② 実際の技術に触れることによって学ぶ工学
- ③ 自ら実践することによって学ぶ工学
- ④ 理論を現実化するために学ぶ工学
- ⑤ 実感となるまで継続して学ぶ工学

2 目標達成のための教員養成計画

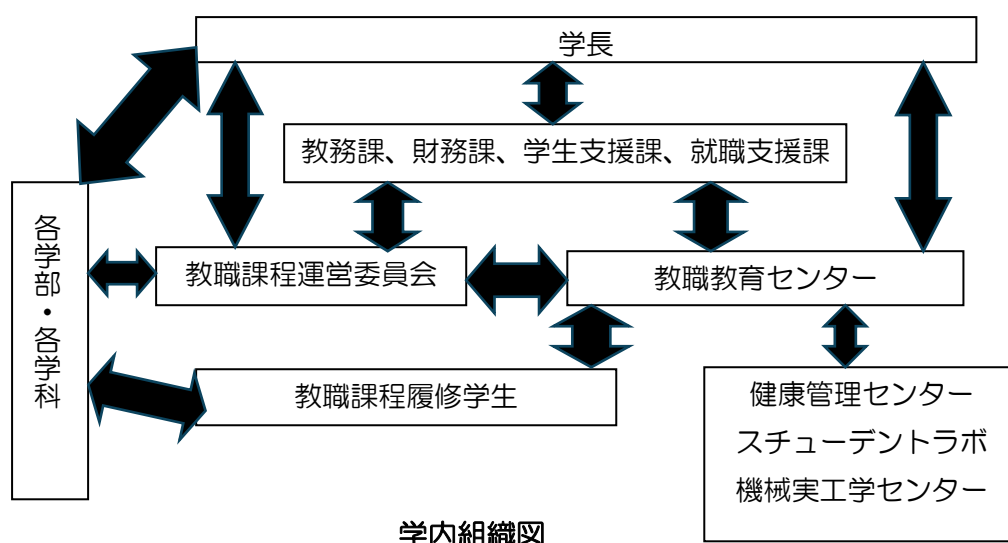
教員としての基本的な知識を学ぶとともに、自ら課題を発見して解決する姿勢を身に付ける。

- (1) 指導計画…教職コアカリキュラムを踏まえ、学校現場のニーズに対応した教育内容を学ぶ。学習指導要領の内容を理解し、単元指導計画の作成ができる。
- (2) 授業・指導の実践…授業等の目標と指導の展開を踏まえ、学習指導案を書くことができる。
- (3) 授業改善…授業の展開に応じた、教材・教具、指導方法を理解している。
- (4) 学級経営…各発達段階における集団の特性及び学級経営に関する基本的な知識を持っている。生徒一人ひとりの実態把握の必要性を理解している。
- (5) 特別な配慮を必要とする生徒への配慮…障がいの特性や配慮事項など、基本的な知識を持っている。
- (6) カウンセリング・教育相談…教育相談などの重要性や基本的な知識について理解している。
- (7) 生徒の問題行動への対応…一人ひとりの生徒を大切にする態度を持ち、組織としての対応の重要性について理解している。
- (8) 外部連携…学校・家庭・地域との連携の重要性を理解している。
- (9) 学校運営…学年、校務分掌、委員会、学校運営協議会、PTAなどの学校運営に必要な組織の役割について理解している。
- (10) 学校安全・危機管理…学校安全の諸課題や重要性、危機管理について理解している。
- (11) 倫理規程…教育公務員としての法令順守を理解している。
- (12) ICT教育・教育データの利活用…教育活動におけるICT機器の基本的な活用方法を理解する。

3 教員養成に係る学内組織および担当教員

(1) 学内組織

共通教育学群	教員 15名（専任・非常勤）
教職教育センター	教員 1名



(2) 業務内容

カリキュラム編成、履修指導、教職課程相談、教育実習・介護等体験指導

教員免許状一括申請事務手続き、教職課程授業、教員採用試験対策、採用情報の展開
(臨時的任用教員、非常勤講師の照会、任用支援を含む。)

(3) 担当教員

- | | | |
|-------|-----------|--------------------|
| ① 専任 | 教職教育センター長 | 宮原浩 |
| | 共通教育学群 | 末吉雄二 (教職教育センター兼担) |
| | 共通教育学群 | 小山将史 (教職教育センター兼担) |
| | 共通教育学群 | 瀧ヶ崎隆司 (教職教育センター兼担) |
| | 共通教育学群 | 本村猛能 (教職教育センター兼担) |
| | 共通教育学群 | 山口剛 (教職教育センター兼担) |
| | 共通教育学群 | 衛藤和文 |
| ② 非常勤 | | |
| | 小熊良一 | 加藤秀次 |
| | 工藤雄司 | 佐藤環 |
| | 竹本政弘 | 田中卓也 |
| | 猪野敏夫 | 松本くみ子 |
| | 山本利一 | |

4 2024年度教職開講科目及び科目担当者（敬称略）

教職論	（宮原、加藤秀）
教育原理	（田中卓）
学習心理学	（山口）
教育の方法と技術（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）	（本村）
生徒指導論	（末吉）
教育相談	（松本）
教育実習Ⅰ	（宮原、末吉、山口）
教育実習Ⅱ	（小山、宮原、山口）
教育実習Ⅲ	（瀧ヶ崎、末吉、本村）
介護体験Ⅰ	（山口）
介護体験Ⅱ	（山口）
木材加工	（小熊）
栽培	（竹本）
職業指導Ⅰ	（猪野）
職業指導Ⅱ	（猪野）
教職実践演習（中・高）	（宮原、小山、山口）
金属加工	（小熊）
機械実習	（小熊）
電気電子基礎・演習	（加藤利）
技術科教育法Ⅰ	（本村）
技術科教育法Ⅱ	（本村）
技術科教育法Ⅲ	（本村）
中学技術の教材開発	（山本）
工業科教育法Ⅰ	（宮原、加藤秀）
工業科教育法Ⅱ	（宮原、加藤秀）
情報科教育法Ⅰ	（本村）
情報科教育法Ⅱ	（本村）
教育制度論	（小山）
数学科教育法Ⅰ	（衛藤和）
数学科教育法Ⅱ	（衛藤和）
道德教育の指導法	（瀧ヶ崎）
特別活動論及び総合的な学習の時間の指導法（末吉）	
教育課程論	（佐藤環）
機械工学通論	（加藤秀）

進路指導論 (末吉、工藤)
 特別支援教育 (松本)
 教員実技演習Ⅰ (自由科目) (末吉、宮原、小山、山口)
 教員実技演習Ⅱ (自由科目) (末吉、宮原、小山、山口)
 教育ボランティアⅠ (自由科目) (瀧ヶ崎)
 教育ボランティアⅡ (自由科目) (瀧ヶ崎)

5 教員養成に携わる教員の経歴、専門、研究実績

大学 HP (ホームページ) ⇒ 日本工業大学について ⇒ [教員一覧 \(学科・施設別\)](#)

6 教員養成に係るカリキュラム、シラバス

カリキュラム

大学 HP ⇒ 在校生・卒業生の方へ ⇒ 学生便覧 ⇒ [教職ハンドブック](#)

シラバス

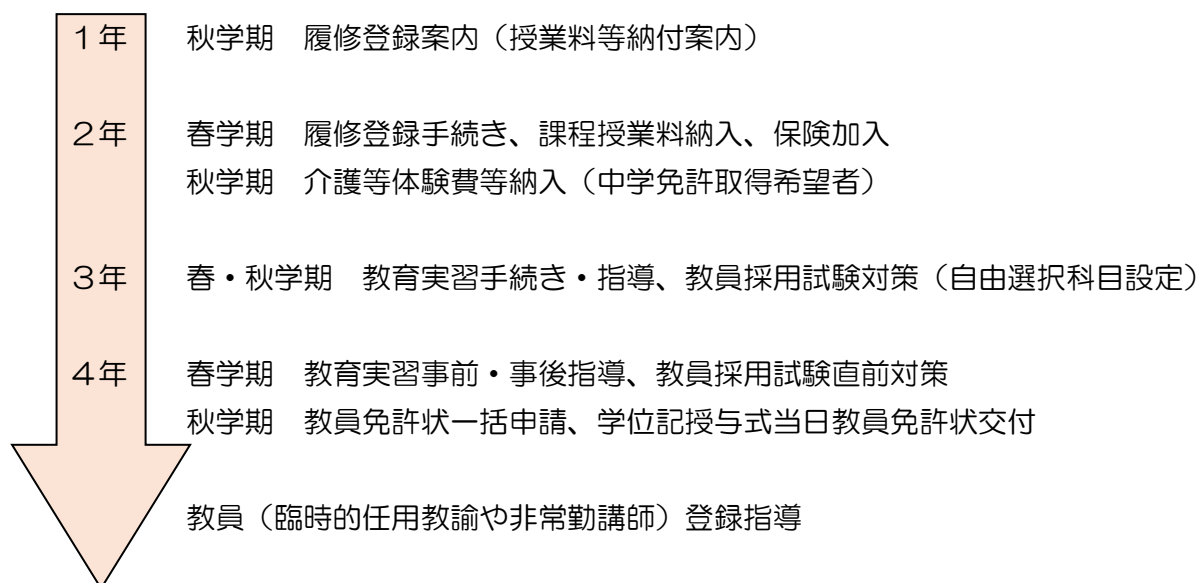
大学 HP ⇒ 在校生・卒業生の方へ ⇒ 日本工大サポータル ⇒ ゲストユーザー ⇒ [シラバス照会](#)

7 取得できる免許状一覧

2024 (令和6年度) 入学生から適用

免許状の種類 学部・学科名		中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状	
		技 術	数 学	工 業	情 報
基幹工学部	機械工学科	○	○	○	
	電気電子通信工学科	○	○	○	
	応用化学科			○	
先進工学部	ロボティクス学科	○		○	
	情報メディア工学科	○	○	○	
	データサイエンス学科				○
建築学部	建築学科	○	○	○	

8 教職課程予定表（概要）



9 教職課程履修に必要な費用（令和6年度）

教職授業料（2年生徴収のみ）	10,000円	一免許状あたりの金額
介護等体験費用	8,000円	埼玉県内の施設で実施
技術科教材費	約10,000円 ～ 15,000円	2年分、学科により相違あり
保険料	630円	3年分（財）日本国際教育支援協会 付帯賠償保険加入

※ その他麻疹抗体検査料約3,300円程度、介護等体験の施設によっては細菌検査料等1,000円程度必要となる。

10 学科別・専攻別教員免許取得状況

学科別教員免許取得状況(令和5年度R6.3.20卒業)学部生

学科名	一括申請者数	中学校1種		高等学校1種		学科・免許別合計
		数学	技術	工業	情報	
基幹工学部機械工学科	14	1	6	12	－	19
基幹工学部電気電子通信工学科	7	1	4	6	－	11
基幹工学部応用化学科	3	－	－	3	－	3
先進工学部ロボティクス学科	4	－	4	2	－	6
先進工学部情報メディア工学科	11	3	6	10	－	19
建築学部建築学科	14	0	5	14	－	19
合計	53	5	25	47	0	77

高等学校1種 情報は取得不可。2022年4月入学生よりデータサイエンス学科取得可能

専攻別教員免許取得状況(令和5年度R6.3.20修了)大学院

学科名	一括申請者数	中学校専修	高等学校専修		合計
		技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	0	0	－	0
機械システム工学専攻	1	0	1	－	1
電子情報メディア工学専攻	2	1	2	0	3
建築デザイン学専攻	0	－	0	－	0
合計	3	1	3	0	4

※埼玉県教育委員会一括申請者数

1 1 学科別・専攻別教員就職者況数

学科別教員就職者数(令和5年度R6.3.20卒業)学部生

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校1種		高等学校1種		合計
			数学	技術	工業	情報	
基幹工学部機械工学科	14	正	0	4	3	－	7
		他	0	0	1	－	1
基幹工学部電気電子通信工学科	7	正	0	1	0	－	1
		他	0	0	1	－	1
基幹工学部応用化学科	3	正	－	－	0	－	0
		他	－	－	0	－	0
先進工学部ロボティクス学科	4	正	－	1	0	－	1
		他	－	1	0	－	1
先進工学部情報メディア工学科	11	正	0	4	0	－	4
		他	0	0	0	－	0
建築学部建築学科	14	正	0	1	0	－	1
		他	0	0	2	－	2
合計	53	正	0	11	3	－	14
		他	0	1	4	－	5

専攻別教員就職者数(令和5年度R6.3.20修了)大学院

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校専修	高等学校専修		合計
			技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	正	0	0	－	0
		他	0	0	－	0
機械システム工学専攻	1	正	0	0	－	0
		他	0	0	－	0
電子情報メディア工学専攻	2	正	0	2	0	2
		他	0	0	0	0
建築デザイン学専攻	0	正	－	0	－	0
		他	－	0	－	0
合計	3	正	0	2	0	2
		他	0	0	0	0

※採用の区分 正・・・正規採用(教諭)
他・・・臨時的任用・非常勤

12 都道府県別就職状況（2024年3月現在）

過去3年間採用実績（現役合格（登載猶予者含む。） 2021・2022・2023						42	名				
都道府県	山形	福島	茨城	栃木	埼玉	千葉	東京	新潟	長野	三重	合計
中学校教員			2	1	5	3	9			1	21
高等学校教員	1	1	5		7		4	1	2		21

13 大学教員（教職課程）に係わるFDの取組

- ① 教育実習の際、実習生への訪問指導。情報交換
- ② 県教育委員会や（公社）全国工業高等学校長協会、関東地区工業高等学校長会との連携。
- ③ 都・県主催の教職課程設置校の説明会や介護等体験説明会。研究協議会への参加
- ④ 関私教協、全私教協を中心とした各種関係学会・部会への参加。情報交換・収集
- ⑤ 最新の書籍・雑誌購読およびインターネット利用による情報収集。
- ⑥ 教育指導方法の改善について内部研修（ICT化による指導方法や最新の教材開発）
- ⑦ 外部講師（県教委や現役校長等）による一部授業に導入。
- ⑧ 特別研修の活用 特別講演会開催、地元中学校、特別支援学校との連携。
- ⑨ 成果を学内外に発表（定期刊行物等）。

以上